

弘前大学育成リンゴ品種 『きみと』

『きみと』の由来は、黄色い実の仲間（黄実徒）、みんなで一緒に作っていこう『きみと一緒に（with you）』という2つの意味が込められている。また、世界に普及可能な品種として、外国人に発音し易い名前となっている。現在、'王林'に代わる黄色品種として普及活動を行っている。



きみとの果実特性

収穫期は11月上旬～中旬である。果実の大きさは約350g、形はほぼ丸形。果皮は'王林'に比べ果点が目立たず、表面は滑らかである。果面にサビが発生しにくく、押し傷もつきにくい。糖度15%、酸度0.34%で甘みを強く感じる。大量の蜜が雪の結晶のように入り綺麗である。また、蜜褐変もしにくい。スマートフレッシュ処理をせず、150日まで品質が保持されることが明らかとなっている。



試食，視察など
何でもご相談下さい！！

国立大学法人 弘前大学農学生命科学部
附属生物共生教育研究センター 藤崎農場
〒038-3802 青森県南津軽郡藤崎町藤崎下袋 7-1
電話：0172-75-3026

ふじと同じ樹体（生産者は作りやすい）